

## 「高病原性鳥インフルエンザ」発生以降の京都府生協連の活動記録

2004年4月18日現在  
京都府生活協同組合連合会

### (1) 2月27日(金)

- ◇午前、「高病原性鳥インフルエンザ発生の疑い」との報道をうけ、京都府・農林水産省近畿農政局へ問い合わせ、情報提供を要請しました。
- ◇入手した情報については、ただちに会員生協・近隣生協連・日本生協連などに、提供をおこないました。
- ◇京都府・農林水産省近畿農政局からの情報を整理すると同時に、会員生協等の生協の鶏卵・鶏肉の取扱い状況にかんする情報収集をおこない、こんごの対応についての方針・政策策定の作業をはじめました。
- ◇午後、農林水産省近畿農政局・山川雅典局長を訪問、正確・迅速な情報提供、調査および検証の強化、生産者はもちろん関連業者への補償の必要性、国の役割発揮などの点について口頭で要請をおこないました。京都府保健福祉部(議会開催中で部長以下不在)にたいしては、「京都府食品衛生監視指導計画(案)についての意見」を提出、「食の安全・安心」課題での自治体間および国との連携の重要性を指摘し、そのなかで鳥インフルエンザ対策について提言しました。2月20日に京都市へ提出した「京都市食品衛生監視指導計画案についての意見」でも、すでに同様の指摘をおこなっています。

### (2) 2月28日(土)

- ◇午前、生協店舗やスーパーの状況等について情報収集し、近隣生協連・日本生協連などに、情報の提供をおこないました。
- ◇こんごの対応についての基本方針と農林水産省および京都府への政策要望点をまとめました。
- ◇午後、京都府各部へ訪問・要請に行きました。商工部(奥原部長・黄瀬次長・八島課長ほか)、農林水産部(青合部長・井上次長)が対応、府内における生協の卵の特色と取扱い状況、利用動向などの点について、府連からの情報提供をおこないました。奥原部長からは、生協としての要望事項を尋ねられ、情報の提供のあり方、調査および検証の強化、食の安心・安全の総合施策の確立と推進態勢、生産者はもちろん関連業者への補償の必要性などについて、口頭で要請をおこないました。

### (3) 2月29日(日)

- ◇午前、生協店舗やスーパーの状況等について情報収集し、近隣生協連・日本生協連などに、情報の提供をおこないました。
- ◇午後、府内生産者(美山町)を訪問。情報収集とともに、生産者の状況や要望をうかがい、激励しました。
- ◇高病原性鳥インフルエンザ発生にともなう京都府生協連としての当面の対応方針および農林水産省近畿農政局と京都府への「京都の生協としての緊急要望」の作成をすすめました。

(4) 3月1日(月)

- ◇午前、京都府生協連の当面の行動と「任務分担」について協議・確認しました。ひきつづき、近隣生協連・日本生協連などに、情報の提供をおこなうと同時に、会員生協等の鶏卵・鶏肉の取扱い状況について、さらに情報収集と資料づくりをすすめました。
- ◇「高病原性鳥インフルエンザ発生にともなう京都府生協連としての当面の対応」をまとめ、会員生協専務理事あてに、FAX送信しました。
- ◇以降、京都府高病原性鳥インフルエンザ対策本部等から発信される情報、京都新聞社から発信される情報を毎日、Eメール・FAX・HPなどで近隣生協連・日本生協連ほかへ発信しました(3月15日まで)。
- ◇3月20日発行予定の広報誌『京都の生協』第51号の記事の差し替えをおこないました。あわせて『京都府生協連ニュース』第48号(3月10日発行予定)および『京都の生協』第52号(4月上旬発行予定)の臨時発行を決めました。
- ◇午前、民主党・福山哲郎参議院議員、松井孝治参議院議員、泉健太衆議院議員の各秘書との消費者政策推進にむけての懇談会の場(コンシューマーズ京都と共催)において、民主党京都府高病原性鳥インフルエンザ対策本部(本部長・福山哲郎参議院議員)との意見交換会の開催を要請しました。
- ◇日本共産党京都府高病原性鳥インフルエンザ対策本部(本部長・西山とき子参議院議員)との意見交換会の開催を要請しました。
- ◇午後、京都府議会で「高病原性鳥インフルエンザ対策に関する決議」「高病原性鳥インフルエンザ対策を求める意見書」が提案・可決され、これには京都府生協連も傍聴参加しました。
- ◇府知事への要請行動をおこない、28日に口頭でのべた京都の生協としての要望事項を文書にまとめた、「高病原性鳥インフルエンザ対策にかんする要望」書を提出しました。対応：商工部消費生活課八島課長。
- ◇農林水産省近畿農政局長への要請行動をおこない、27日に口頭でのべた京都の生協としての要望事項を文書にまとめた、「高病原性鳥インフルエンザ対策にかんする要望」書を提出しました。対応：山川局長、永江消費・安全部長、岩垂同次長、皆川同課長ほか。
- ◇要望書の提出については、地元選出国會議員、府議会各派、マスコミ等に情報提供しました。
- ◇朝日新聞、読売新聞からの取材を受けました。
- ◇以上については、京都府生協連HP「P r e s s 掲示板」に掲載しました。

(5) 3月2日(火)

- ◇民主党・菅代表の入洛にともなう意見交換会の開催にかんして、出席メンバー・内容・すすめ方等について、協議しました。
- ◇日本共産党京都府高病原性鳥インフルエンザ対策本部との意見交換会の開催内容等について、協議しました。
- ◇J A 京都中央会高病原性鳥インフルエンザ対策本部(本部長・中川泰宏会長)との意見交換会の開催を要請しました。

(6) 3月3日(水)

- ◇この間の経緯と京都府生協連としての当面の対応について、日本生協連関西地連・府県連協

議会（大阪で開催）で報告しました。

- ◇「京都府食の安心・安全意見交換会」が京都市内で開かれ、京都府から高病原性鳥インフルエンザ発生についての報告を受けました。生協からは、小林智子京都府生協連副会長理事が代表して発言しました。高田理事のほか、京都生協理事も傍聴参加しました。
- ◇府内養鶏生産者（外田誠・美山町会議員）と小林副会長理事、高田理事のほか、京都生協・廣瀬理事、西山理事が京都市内で懇談・激励しました。
- ◇民主党との意見交換会の開催内容等について、協議しました。
- ◇日本共産党との意見交換会の開催内容等について、協議しました。
- ◇国にむけての「京都の生協としての緊急要望」をまとめました。

(7) 3月4日（木）

- ◇民主党・菅代表が入浴、意見交換会が京都市内で開催されました。府連からは小林副会長理事、高田理事、坂本事務局長が参加・発言し、要望書を手渡しました。京都生協理事6名も参加・発言しました。民主党からは菅代表のほか、前原衆議院議員、泉衆議院議員、福山参議院議員はじめ府会議員が多数出席しました。京都府生協連以外では、コンシューマーズ京都（京都消団連）、J A京都中央会、京都府食鳥肉販売業生活衛生同業組合、京都府養鶏協会が参加しました。
- ◇J A京都中央会と意見交換をおこない、激励しました。京都生協連からは小林副会長理事、坂本事務局長、J A京都中央会からは小瀧専務、十川参事、牧部長が出席。3月13日、「鳥インフルエンザに負けないゾ！生産者と消費者の緊急集会」（仮称）を開催することを提案・確認しました。
- ◇小泉首相へ「京都の生協としての緊急要望」書を送付しました。

(8) 3月5日（金）

- ◇近畿地区生協府県連協議会（奈良で開催）で、この間の経緯と京都府生協連の取り組みについて報告しました。
- ◇「鳥インフルエンザに負けないゾ！生産者と消費者の緊急集会」（仮称）の開催にむけて、参加要請、チラシ作成など準備をすすめました。せいきょう虹の会からの協力申し出がありました。しかし、情勢がはげしく変化していくなかで、J A京都中央会と協議し、日程の変更を確認しました。
- ◇京都新聞の取材があり、資料提供しました。

(9) 3月6日（土）

- ◇日本共産党京都府高病原性鳥インフルエンザ対策本部（本部長・西山とき子参議院議員）との意見交換会をせいきょう会館で開催しました。あわせて消費者政策推進にかんしての要請をおこないました（コンシューマーズ京都と共催）。日本共産党からは西山議員のほか、松尾、西脇府会議員、玉本市会議員が参加、府連からは小林副会長理事、小峰専務理事、坂本事務局長、京都生協からは理事・職員10名が参加し、要望書を手渡しました。

(10) 3月7日(日)

- ◇27日以降の府連としての行動をふりかえり、こんごの課題について整理しました。
- ◇マスコミ取材に対応するための情報整理と準備作業をおこないました。
- ◇『京都府生協連ニュース』鳥インフルエンザ問題臨時特集号の発行準備をすすめました。

(11) 3月8日(月)

- ◇午前、鳥インフルエンザ問題にかんする「情勢と課題」について協議・確認しました。
- ◇京都新聞から取材があり、対応しました。9日(火)朝刊に記事掲載されました。
- ◇農林水産省近畿農政局と近畿地区生協府県連協議会との意見交換会(3/16)のすすめ方について、協議しました。
- ◇「月曜会」(在洛新聞放送責任者会議)との懇談会のすすめ方について、月曜会幹事と協議、鳥インフルエンザ問題にかんする京都の生協の取り組みについて、情報提供しました。
- ◇関係者からの情報収集をおこないました。

(12) 3月9日(火)

- ◇「月曜会」(在洛新聞放送責任者会議)との懇談会を開催しました。出席いただいた在洛新聞放送責任者のみなさまからは、とくに鳥インフルエンザ問題にかんする京都の生協の状況や対応について、質問が集中しました。国・近畿農政局・府への要望について資料提供し、生協と提携関係にある養鶏場の状況や生協の供給事業への影響などについて、ていねいにお答えしました。京都府生協連からは吉田会長理事、小林副会長理事(京都生協理事長)、小峰専務理事、田中常任理事(京都医療生協専務理事)、小川常任理事(京都府庁生協常任理事・総括)のほか、大学生協京滋・奈良地域センター・横山事務局長が参加・報告しました。出席された「月曜会」の方がたは以下のとおり(敬称略)。

・朝日新聞社京都総局	総局長	樋口修
・NHK京都放送局	放送部長	榎本榮三郎
・京都新聞社	編集局総務	福田幸男
・共同通信社京都支局	支局長	樋口伸司
・時事通信社京都総局	総局長	榎本雅晴
・中日新聞・東京新聞京都支局	支局長	伊藤博道
・日刊工業新聞社京都支局	支局長	花岡敬二
・日本経済新聞社京都支社	支社長	秋山光人
・日本経済新聞社京都支社	支局長	種田龍二

- ◇農林水産省近畿農政局と近畿地区生協府県連協議会との意見交換会(3/16)のすすめ方について、協議しました。
- ◇京都府選出の全国会議員へ、小泉首相・山川近畿農政局長・山田府知事あての各「要望書」をまとめ、送付・支援要請しました。

(13) 3月10日(水)

- ◇『京都府生協連ニュース』の臨時発行作業を終了し、内容について、会員生協専務理事・近隣生協連・日本生協連などに、FAX送信しました。

- ◇「鳥インフルエンザに負けないゾ！生産者と消費者の緊急集会」（仮称）のもち方について、協議をすすめました。
- ◇関係者からの情報収集をおこないました。

(14) 3月11日（木）

- ◇「鳥インフルエンザに負けないゾ！生産者と消費者の緊急集会」（仮称）のもち方について、関係者の意見調整をおこない、チラシ作成の準備をすすめました。3月27日（土）午前、せいきょう会館で「せいきょう虹の会」（京都生協のお取引先456社で構成、内田吉治会長）の協力をいただき、開催することとしました。
- ◇JA京都中央会と協議し、4月中旬、京都の鶏卵・鶏肉の供給回復へむけての集会を共催でおこなえるよう、関係者と調整をすすめていくことを確認しました。
- ◇『京都府生協連ニュース』鳥インフルエンザ問題臨時特集号が出来上がり、関係者への配布作業をおこないました（2800部）。

(15) 3月12日（金）

- ◇京都府「鶏肉・鶏卵に係る風評被害対策会議」が開催され、酒向担当が出席しました。
- ◇「鳥インフルエンザに負けないゾ！生産者と消費者の緊急集会」チラシを関係者へ配布する作業をおこないました。

(16) 3月13日（土）

- ◇発生農場から半径30Km以内にあり、京都の生協と提携関係にある生産者を訪問、状況や要望についてお聞きし、激励しました。これには京都生協商品部高橋チーフおよび学識経験者・川崎仁氏が同道しました。
- ◇訪問した生産者は以下のとおり。敬称略

< 亀岡市 >

- ・京都食品(株) 中澤伸広常務・小野明二場長
- ・井木達雄

< 瑞穂町 >

- ・(有)ミズホファーム 木村剛場長

< 美山町 >

- ・中野喜友
- ・外田誠
- ・清水正雄
- ・中島勲

< 市島町 >

- ・近藤篤
- ・中井弘明

(17) 3月14日（日）

- ◇生産者訪問時の情報と写真を、日本生協連および近隣生協連等へ送信しました。同じく、小

林副会長理事、高田理事に報告しました。

- ◇農林水産省近畿農政局と近畿地区生協府県連協議会との意見交換会（3/16）の準備をすすめました。
- ◇「情勢と課題」について整理しました。

(18) 3月15日（月）

- ◇鳥インフルエンザ問題にかんする「情勢と課題」について協議・確認しました。
- ◇3/13 生産者訪問時の情報と写真を、各会員生協等へ送信しました
- ◇KBS京都のテレビ取材があり、対応しました。夕方のニュースでオンエアされました。  
NHK東京本社から電話取材があり、対応しました。
- ◇「鳥インフルエンザに負けないぞ！生産者と消費者の緊急集会」の3/27開催について、プレスリリースしました。また京都府生協連HPの「おしらせ」欄に掲載しました。京都新聞から取材がありました。
- ◇『京都の生協』第52号（4月上旬発行予定）の準備をすすめました。
- ◇農林水産省近畿農政局と近畿地区生協府県連協議会との意見交換会（3/16）のすすめ方について、協議しました。資料づくり、パネルづくりなどをおこないました。

(19) 3月16日（火）

- ◇農林水産省近畿農政局と近畿地区生協府県連協議会との意見交換会を開催しました。近畿農政局からは山川局長、今村次長、永江消費・安全部長など7名が参加、生協からは滋賀・奈良・和歌山・大阪・兵庫・京都府の各府県連役員12名が参加、日生協関西地連・川村局長、西島担当もオブザーバ参加しました。生協を代表して、京都府生協連・小林副会長理事があいさつしました。永江部長より、食品安全推進へむけての新機構になって以降の取り組みとこんごの課題について報告。つづいて食品表示、リスクコミュニケーション、鳥インフルエンザ問題、米国BSE問題をテーマとして各担当より報告があり、活発な意見交換がおこなわれました。
- ◇意見交換会のなかでは、丹波町での鳥インフルエンザ発生前、2月20日（金）におこなわれた近畿農政局担当窓口と近畿地区生協府県連事務局との打合せ会議において、京都府内で鳥インフルエンザが発生した場合の影響と対策にかんする問題点について指摘し、国および近畿農政局の役割にかんして、3月16日の意見交換会のテーマのひとつとして取り上げることを確認していたことを報告しました。
- ◇日本経済新聞社から取材がありました。

(20) 3月17日（水）

- ◇農林水産省近畿農政局を訪問。前日の御礼を申し上げ、こんごの鳥インフルエンザ対策とくに生産者への補償、「検証委員会」の設置等についてあらためて要請しました（対応：山川局長、今村次長、坂路食糧部長）。また3月27日に開催する緊急集会について、ご案内しました。
- ◇JA京都中央会と協議し、4月15日（木）10：30～12：00、コープイン京都で、京都の鶏卵・鶏肉の供給回復へむけての集会を京都府生協連との共催で開催することを確認

しました。あわせて、3月27日に開催する緊急集会について、チラシ配布を要請しました。

(21) 3月18日(木)

- ◇京都府および京都市の議会各会派へ、3月27日に開催する緊急集会について、ご案内しました。
- ◇日生協「鳥インフルエンザ対応の手引き」について、安全政策推進室メンバーと意見交換しました。
- ◇吉田智道会長理事が京都の生協と提携関係にある養鶏生産者に見舞と激励の手紙を送りました。

(22) 3月19日(金)

- ◇相楽郡農林漁業振興会・相楽郡農業技術者協議会トレーサビリティ研修会で「食の安全・安心について～生産者に何がもとめられているか」をテーマに坂本事務局長が講演。鳥インフルエンザ問題についても報告しました。

(23) 3月20日(土)

- ◇農林水産省近畿農政局が京都駅頭で「鶏肉・卵の安全性」を訴える宣伝行動をおこないました。山川雅典局長、木村均次長を先頭に、京都府民だけでなく、観光客にたいしても、鳥インフルエンザの発生により消費が落ち込んでいる鶏肉・卵の安全性をひろく知ってもらおうと取り組まれたもの。ナカデケイラン・鳥内裕一社長をはじめ、京都府の養鶏業者も参加、京都府生協連・坂本事務局長もお手伝いしました。

(24) 3月21日(日)

- ◇『京都の生協』臨時号・鳥インフルエンザ特集の作成作業をすすめました。

(25) 3月22日(月)

- ◇内閣府食品安全委員会・厚生労働省・農林水産省近畿農政局・京都府・京都市主催講演会「食のリスクコミュニケーション講演会～鳥インフルエンザのリスクについて」に高田理事、坂本事務局長、酒向担当が参加。坂本事務局長が2度発言に立ち、講師各位よりていねいな返答がありました。
- ◇京都府生産・消費連携推進協議会が開かれ、鳥インフルエンザ問題について、生産者を励ます取り組みをおこなうことを確認しました。

(26) 3月23日(火)

- ◇せいきょう虹の会・内田吉治会長と懇談、鳥インフルエンザにかんする京都府生協連の活動経過について報告し、3月27日「鳥インフルエンザに負けないぞ！生産者と消費者の緊急集会」について協力要請しました。小林副会長理事・小峰専務理事・坂本事務局長が同席しました。

(27) 3月24日(水)

- ◇京都府商工部を訪問、この間の京都府生協連の取り組みについて報告し、3月27日「鳥インフルエンザに負けないゾ！生産者と消費者の緊急集会」へのご参加を要請しました。あわせて集会后、山田知事への報告機会をつくっていただくことを要請しました(対応：消費生活課八島課長、井上主幹、伊藤専門員)。
- ◇『京都の生協』臨時号・鳥インフルエンザ特集の作成作業をすすめました。

(28) 3月25日(木)

- ◇3月27日「鳥インフルエンザに負けないゾ！生産者と消費者の緊急集会」の開催準備作業をすすめました。あらためて、マスコミ各社・国会議員・府会各派への情報提供をおこないました。
- ◇4月15日「鳥インフルエンザに負けるな！京都府内養鶏農家を励ますつどい」の開催について、JA京都中央会と協議しました。

(29) 3月26日(金)

- ◇3月27日「鳥インフルエンザに負けないゾ！生産者と消費者の緊急集会」の開催にむけ、当日資料・パネルなどの作成準備をすすめました。
- ◇『京都の生協』臨時号・鳥インフルエンザ特集の作成作業をすすめました。

(30) 3月27日(土)

- ◇京都府生協連のよびかけ、せいきょう虹の会の協力により「鳥インフルエンザに負けないゾ！生産者と消費者の緊急集会」が京都市せいきょう会館で開催され、卵・鶏肉の移動制限区域内養鶏生産者10人はじめ104名が参加、京都生協・大学生協京滋・奈良地域センターの役職員が応援にかけつけ、生産者をはげました。30km圏内の生産者ひとりひとりから、現在の状況について報告があり、生協組合員・職員からの励ましのメッセージも生産者に手渡されました。「生産者と消費者が手をたずさえ、心をよせあって、食の安定・安全・安心への実現へむけて、力づく前進していこう」とのアピールを採択、アピールは本集会の報告とあわせ、亀井農林水産大臣、山田京都府知事に届けられました。なお、当日、集会参加者から、6万0641円の義援金がよせられました。京都・朝日・読売・毎日・全国農業新聞・日本消費経済新聞の各紙で報道されたほか、NHK・ABCでテレビ放送されました。

<集会内容は、以下のとおり> (敬称略)

- |                                |                              |      |
|--------------------------------|------------------------------|------|
|                                | 司会進行：京都府生活協同組合連合会理事          | 高田艶子 |
| ◇開会あいさつ                        | 京都府生活協同組合連合会会長理事             | 吉田智道 |
| ◇激励                            | 京都生活協同組合理事長                  | 小林智子 |
| ◇現状報告～コープさくら卵・ひらがら卵の生産者のみなさんから |                              |      |
|                                | <亀岡市>井木養鶏場・井木達雄/京都食品(株)・中澤廣司 |      |
|                                | <瑞穂町>(有)ミズホファーム・木村 剛         |      |
|                                | <三和町>山元産業(株)・山元 勉            |      |
|                                | <市島町>中井養鶏場・中井弘明/近藤養鶏場・近藤 篤   |      |



◇せいきょう虹の会のみなさんから

- ・O157ショック時カイワレ生産者はどう行動したか 岐阜県(株)サラダコスモ・中田智洋
- ・肉牛生産者はBSEパニックにどう対応したか 鳥取県畜産農業協同組合・鎌谷一也

◇全国からかけつけた養鶏関係者・産直生産者などのみなさんから

日本卵業協会・寺西孝年(大阪)、後藤孵卵場・中島義文(岐阜)、有田コープファーム・小西敬民(和歌山)、民主党衆議院議員・山井和則(京都)、穂崎養鶏場・穂崎宏英(広島)、坂本産業・坂本克彦(岡山)

◇京都生協の組合員・役職員からの激励。

京都生協・斉藤紀子理事、川田信子理事、松本敬子理事より、よせがき・メッセージがわたされました。

◇集会アピール提案 京都生活協同組合常任理事 廣瀬佳代

◇閉会あいさつ せいきょう虹の会会長 内田吉治

<ご参加いただいた地元選出国會議員・秘書のみなさん> ※敬称略

- ・民主党衆議院議員・山井和則
- ・民主党衆議院議員・玉置一弥秘書 秋元好正
- ・民主党参議院議員・福山哲郎秘書 田中健志

<集会への祝電・メッセージ> ※敬称略

- ・日本共産党参議院議員 西山とき子
- ・民主党参議院議員・福山哲郎
- ・(社)日本養鶏協会 会長 梅原宏保
- ・日本鶏卵生産者協会 会長 梅原宏保

◇4月15日、J A京都中央会との共催で開催を予定している「鳥インフルエンザに負けるな！京都府内養鶏農家を励ますつどい」の案内チラシを作成、会員生協等へ配布しました。

(31) 3月28日(日)

◇『京都の生協』臨時号・鳥インフルエンザ特集の作成作業をすすめました。

◇KBS京都で鳥インフルエンザ特集番組が放映され、3月22日(月)に開催された内閣府食品安全委員会等の主催による「食のリスクコミュニケーション講演会～鳥インフルエンザのリスクについて」で京都府生協連が提起した問題(人への風評被害、フードチェーンにおける国・自治体間の連携確保の課題、食品安全基本法制定以降の事例としてリスクアナリシスにもとづく検証など)も論点として設定されました。

(32) 3月29日(月)

◇『京都の生協』臨時号・鳥インフルエンザ特集の入稿作業を終了しました。3月27日集会の開催報告とアピールについて、HP掲載しました。

◇NHK・京都民報社より取材電話がありました。

◇移動制限区域の縮小と搬出制限区域からの出荷について、情報収集しました。

(33) 3月30日(火)

◇3月27日集会の開催報告とアピールについて、マスコミ各社・国會議員・府会各派・近隣

生協連・日生協等への情報提供をおこないました。

◇ひきつづき、移動制限区域の縮小と搬出制限区域からの出荷について、情報収集しました。

◇京都新聞社・時事通信社より取材がありました。

(34) 3月31日(水)

◇ひきつづき、移動制限区域の縮小と搬出制限区域からの出荷について、情報収集しました。

◇NHKより取材電話がありました。

(35) 4月1日(木)

◇吉田智道会長理事は、せいきょう虹の会・内田会長とともに京都府庁をたずね、山田知事、麻生副知事、奥原商工部長に、3月27日開催された「鳥インフルエンザに負けないゾ！生産者と消費者の緊急集会」の様子を報告、採択されたアピール文を手渡し、懇談しました(小林智子副会長理事、小峰耕二専務理事、坂本茂事務局長が同行。消費生活課・八島一美課長が同席)。山田知事からは、風評被害にたいする取組みや鶏肉・鶏卵の安全性についてのPR活動に感謝の言葉がありました。亀井農林水産大臣あてにも、集会アピール文を送付しました。

◇京都府商工部より、4月1日から移動制限区域の縮小と搬出制限区域からの出荷について文書報告を受けました。

(36) 4月2日(金)

◇京都生協より、4月3日以降のコープ卵の供給と生産者の活動計画について報告がありました。

(37) 4月3日(土)・4日(日)

(搬出制限区域への移行により供給再開が可能となった生産者12名が京都生協の6店舗で宣伝行動をおこないました)

(38) 4月5日(月)

◇4月15日「鳥インフルエンザに負けるな！がんばる京都府内養鶏農家を励ますつどい」の開催内容について、JA京都中央会と協議しました。

◇卵の消費回復の取組みについて、京都新聞から取材がありました。

(39) 4月6日(火)

◇農林水産省近畿農政局・永江次長、消費・安全部信太部長が新任あいさつに来会、生協の鳥インフルエンザにたいする取組み経過について、説明しました。

(40) 4月7日(水)

◇4月15日「鳥インフルエンザに負けるな！がんばる京都府内養鶏農家を励ますつどい」の開催準備作業をすすめました。

(41) 4月8日(木)

- ◇4月15日(木)「鳥インフルエンザに負けるな!がんばる京都府内養鶏農家を励ますつどい」について、プレスリリースしました。
- ◇「つどい」の開催内容について、JA京都中央会と協議しました。

(42) 4月12日(月)

- ◇4月15日「鳥インフルエンザに負けるな!がんばる京都府内養鶏農家を励ますつどい」の開催内容について、JA京都中央会(十川参事、牧部長、大槻課長、山下担当)と協議しました。
- ◇『京都の生協』臨時号・鳥インフルエンザ特集が出来上がり、発送しました。

(43) 4月13日(火)

- ◇午前0時、京都府より「終息宣言」が出されました。発生以降、47日目でした。午前9時から、京都府庁で、山田知事の府職員むけ全館放送があり、坂本事務局長が傍聴しました。終息について、通知文書とともに商工部(八島課長)より報告がありました。
- ◇京都府農林水産部(井上次長)・商工部(奥原部長)および農林水産省近畿農政局(消費・安全部信太郎部長、尾崎課長補佐)を訪問、この間の労をねぎらうとともに、消費回復にむけての取組みについて報告しました。
- ◇京都府生協連理事会に、一連の経過について文書報告しました。
- ◇近隣の生協連および日生協に、「終息」と支援御礼の連絡をしました。
- ◇4月15日(木)「鳥インフルエンザに負けるな!がんばる京都府内養鶏農家を励ますつどい」および、募金活動や消費回復にむけての京都生協の取組みなどについて、プレスリリースしました。
- ◇読売新聞、京都新聞、日本経済新聞、日本消費経済新聞、ABC、NHKより取材がありました。

(44) 4月14日(水)

- ◇4月15日(木)「鳥インフルエンザに負けるな!がんばる京都府内養鶏農家を励ますつどい」の資料作成をおこないました。

(45) 4月15日(木)

- ◇JA京都中央会と共催で「鳥インフルエンザに負けるな!がんばる京都府内養鶏農家を励ますつどい」をコープイン京都で開催し、JAおよび生協の組合員・役職員を中心に179名が出席しました。開催にあたっては、農林水産省近畿農政局が後援しました。

<集会内容は、以下のとおり>(敬称略)

- ◇開会 司会・進行……京都府生協連理事・高田艶子
  - ◇開会あいさつ……京都府生協連会長理事・吉田智道
  - ◇来賓あいさつ……近畿農政局局長・山川雅典
- ※木村局次長、永江局次長も出席。

◇生産者からの報告

- ①美山町養鶏部会 部会長 美山喜友
- ②美山町養鶏部会 部員 外田 誠
- ③同・清水正彦、同・中島勲、京都府養鶏協議会会長／亀岡養鶏センター代表理事・中澤  
廣司京都府養鶏協議会副会長／山元産業株式会社代表取締役・山元勉
- ④J A京都中央会会長・中川泰宏

◇生協からの報告

- ①京都生協京北行政区委員会 5名
- ②京都生協船井・美山行政区委員会 2名
- ③京都生協理事長・小林智子
- ④京都生協商品部農産チーフ・高橋茂雄

◇生協から生産者へ、寄せ書きの贈呈

◇メッセージを送っていただいた方のご紹介

- ①民主党・福山哲郎参議院議員
- ②民主党・松井孝治参議院議員

◇参加者からの発言 2名

◇「つどい」アピールの提案……京都生協理事・廣瀬佳代

開催報告とあわせ、亀井農林水産大臣・山田京都府知事へお届けしました。

◇閉会ののち、卵料理試食・卵およびおにぎりプレゼント

◇その他

(1)配布資料

- ①プログラム等当日資料
- ②食品安全委員会・厚生労働省・農林水産省・環境省「国民の皆様へ（鳥インフルエンザについて）」3月9日付け。
- ③近畿農政局「鶏肉・鶏卵は安全」
- ④美山町養鶏部会「美山の平飼い卵」
- ⑤日本養鶏協会・農畜産業振興事業団「たまご、その安心を食卓にのせて」
- ⑥同「たまごで 健康の源 アミノ酸を」
- ⑦京都府生協連広報誌「京都の生協」臨時号・鳥インフルエンザ特集  
ほか

(2)会場内展示

- ①近畿農政局「鶏肉・鶏卵は安全」ポスターなど
- ②京都府生協連「産地写真」ポスターなど

(3)取材

- ①テレビ……NHK、KBS、ABC
- ②新聞……朝日・読売・毎日・京都・日本農業新聞・日本消費経済新聞・日本工業新聞

(4)卵料理試食

- ①ゆでたまごとメンマの煮物
- ②ゆでたまごのからしあえ
- ③ほうれんそうのふわふわたまごのせ

(5)プレゼント

①卵……美山町・亀岡養鶏センター・山元産業より

②おにぎり……(株)煌より

(6)募金

(46) 4月16日(金)

◇農林水産省近畿農政局を訪ね、15日のつどい後援御礼と生産者補償についての要請をおこないました(小峰専務理事・坂本事務局長)。

(47) 4月17日(土)・18日(日)

(生産者・養鶏関係者83名が京都生協全店23店舗で宣伝行動をおこないました)

(48) 4月18日(日)

◇「京都 食の安心・安全フェスティバル〜とり・たまごフェア」が開催され、吉田会長理事・小林副会長理事が行事参加しました。

<こんごの予定>

◇生産者への募金の贈呈

◇学習会講師派遣

など

以上